

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	伊予市漁港管理会事業			
予算科目	6 款 3 項 3 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 水産業の振興			
所管課情報	担当課:	農林水産課	電話番号(内線):	583
記入者情報	所属長:	亀岡 泰三	担当責任者:	角田 栄治
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】	平成	年度	【開始年度】設定なし
事業の対象	プレジャーボート			
根拠法令等	伊予市漁港管理条例			
事業の目的	無秩序に利用されている森漁港において、プレジャーボートの利用規則を定め、プレジャーボートの利用を許可制とし漁船とのすみわけを行う。また、上灘・豊田漁港についてはより快適に利用できる環境を整える協議を行う。			
事業の内容	漁港管理会を立ち上げ、森漁港内にプレジャーボートが利用できる区域を設定し、その他の漁港については港内での事故防止について協議等を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	森漁港の区域指定については、概ね合意ができた。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	180	796	0	92
	人件費	1,627	1,590	795	1,590
	合計	0	2,386	795	1,682
人件費 内訳	人工数	0.20	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,627	1,590	795	1,590
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,807	2,386	795	1,682

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
管理会の開催回数	回	2	2	0	1

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	管理会の推移によるため、成果指標は設定しない。			
指標設定の考え方	0			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	プレジャーボートの使用料改正及び漁港区域設定については、伊予市漁港管理条例及び規則の改正が必要になってくる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	森漁港は第一種漁港であり、漁港内はプレジャーボートの不法係留が後を絶たず、漁船の係留に支障を来しており、根本的な対策を講じるため平成25年度に「漁港委員会」を立ち上げ、平成26年度の管理会で許可区域の設定について概ね了解を得ることができた。今後、使用料、管理等の懸案事項もあり、引き続き「漁港委員会」において協議し、プレジャーボート所有者と漁業関係者が安心して利用できる管理体制を構築する必要がある。その他の漁港については、より快適に利用できる環境を整えるため、効率的な漁港管理に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題